



第13回企画展「人生儀礼～誕生・結婚・葬送～」は9月30日で終了いたしました。お越しいただいた方々、どうもありがとうございました。
(内海)

人生儀礼～誕生・結婚・葬送～

52・53号に引き続き、明野歴史民俗資料館 第13回企画展「人生儀礼～誕生・結婚・葬送～」の中から、今回は「葬送」についてお話しします。

人が亡くなると、まずは隣の家、そして組長に伝えられました。葬儀の日取りが決まると、他の村の親類や寺に、組から「オトムライアカシ」と呼ばれる連絡が行きました。オトムライアカシは、必ず二人一組で、提灯を持って出掛けました。

遺体は北向きに寝かせて、顔の上に白い布を被せ、胴の上には魔除けのために鎌などを置きます。枕元には、茶碗にてんこもりに盛って箸を一膳立てた「枕飯」を、祭壇には、蕎麦粉もしくは玄米を挽いて作った「枕団子」を供えます(写真1)。近親者などによって、遺体を清める「湯灌」が行われ、その後、晴着に経帷子など旅支度を身に付けさせました。遺体を棺に入れる時、本人の愛用品など以外に、三途の川の渡り賃である六文銭を納めます。遺体を棺に入れることを「ニッカン」と呼び、作業する者は、藁縄で縛った襷をかけました。縄は左に縛ったもので、結び目は「オタツ(たて結び)」。日常の逆の様式を用いるのは、死忌に対する意識が働くからです(写真2)。

葬儀に参列する人々の服装は、昭和初期までは女性は白無垢でした。戦中から戦後にかけて、服装は次第に黒に統一されていきました(写真3)。

家の中に祭壇を作り、そこで僧侶による読経が行われ、その後、座敷から出棺して墓へ向かいました。棺を担ぐのは、死者の甥などから4人が選ばれました。棺を担ぐ者は藁草履を履いていきましたが、帰りには、墓に埋めたり、畑に捨てました(写真4)。墓に着くと、簡単な斎場が設けられ、線香を焚きながら読経が行われ、その後、墓穴に棺を納め、枕飯や枕団子などを投げ入れ、土をかぶせます。

墓からの帰り道は、行きとは違う道を通らなければならず、これは死者の霊がついてくることを恐れたからです。家の入口に塩と水が用意されていて、それで体を清めてから入ります。葬儀が、2人目の親を送った「親送り」の場合、家の前で空白を搗きますが、これは、魂は白のような容器に入っていると考えられていて、空白を叩くということは魂を屋外へ追い出すため、などの説があります。

葬儀の翌日には、「テラオクリ」と称して、死者の遺品や泊り米などを寺に持っていきます。これは、死者が四十九日間、寺で過ごすための仏事です。四十九日には、搗いた餅49切れを寺に持っていきます。餅を搗く音で、死者の魂が棟から離れると考えられ、この日で忌中明けとなります。

3号を通じて、北杜市の人生儀礼について紹介してきました。

かつて、当たり前のように行われていた人生儀礼の中には、すでに絶えてしまったものも多くあります。一方で、現在も続けられているものもあります。ぜひ、その意味を感じとっていただきたいです。



写真1

枕団子(『須玉町史』所収)



写真2

ニッカン(『須玉町史』所収)



写真3

葬儀(『須玉町史』所収)



写真4

葬列(『山梨県史 民俗編』所収)



縄文王国山梨 まいぶんで縄文人に変身だ!



縄文服を着てみたよ!



縄文パズル 完成!

9月5日(土)に、埋文で初めての縄文王国山梨巡回イベントが開かれました。当日は、縄文王国の他の7館からも王国メンバーが応援に来てくれ、一緒にイベントを実施しました。お天気にも恵まれ、たくさん子ども達が遊びに来てくれました。

当日開いたコーナーは、縄文服・縄文パズル・縄文ぬりえ・土偶作り・縄文染め・石器体験・縄文鍋・狩猟体験の8つ。デッキや林など、埋文を目一杯使って楽しみました。



土偶作りに挑戦



弓矢でえものをつかまえる!

縄文染めでは、縄文時代にもあったであろうフジザクラの実を使って、染物をしました。きれいな、明るい紫色に染まります。みんな、いろいろな絞りの模様を入れて、素敵なオリジナルハンカチを作りました。縄文鍋には、鮭ときのこをたっぷり入れて、秋味の鍋にしました。林の中に炉を作って火を起し、縄文土器の複製を使って、縄文時代さながらに鍋を作りました。来場者もみんな大満足。3杯もおかわりする子もいましたよ!



縄文鍋を作っています



完成!おいしそう~



縄文染めにチャレンジ!



きれいな染め物ができました

縄文王国では、これからも楽しいイベントをたくさん実施していきます。どうぞよろしく願いいたします。



縄文王国をまわっちゃおう!
各館でスタンプも押せちゃおうよ!



=縄文王国バスツアー=

縄文王国山梨バスツアーは全3回!

◆第1回 平成21年10月18日(日) 開催◆

コース: 県立博物館→富士吉田歴史民俗博物館→釈迦堂遺跡博物館→県立博物館

◆第2回 平成21年11月29日(日) 開催◆

コース: 考古博物館→谷戸城ふるさと歴史館→葦崎市民俗資料館→考古博物館

◆第3回 平成22年1月31日(日) 開催◆

コース: 考古博物館→南アルプス市ふるさと文化伝承館→北杜市埋蔵文化財センター→考古博物館

※お申し込みは開催日の1ヶ月前からになります。

縄文王国山梨では、構成館8館のうち3館を巡るバスツアーを開催します!!各館の学芸員がバスガイドとなり、館のみどころや、その地域の歴史、遺跡をご案内。訪問する先々では展示見学のほか、体験イベントも参加できます!また現在開催中のスタンプラリーのスタンプも集められます!

お問い合わせは山梨県立考古博物館まで。

電話: 055-266-3881



=会員募集=

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動してくださる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金: 1000円 年会費: 1000円

=編集後記=

第13回企画展「人生儀礼～誕生・結婚・葬送～」が9月30日で終了しました。お越しいただいた方々、どうもありがとうございました。埋文で開催された縄文王国巡回イベントにも、大勢の方々にお越しいただきました。

秋も深まりつつあり、次第に寒くなってきていますが、かやぶんでは縄文王国や八代家イベントなど、ますますホット!にいろいろな活動を行っていきます。どうぞよろしく願いいたします。

かやぶんかわら版 第54号

平成21年9月30日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019
ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>
E-mailアドレス info@kaya-net.jp